

関西 高機能素材ワールドセミナープログラム

MW-SK 関西 高機能素材ワールド 特別基調講演

10月5日[水] 10:30~12:30 受講無料/事前申込制

日本が強みとする高機能素材を取り巻く現状と将来展望 | 自動車メーカーからの材料への期待 | 360兆円の巨大市場を築くIoT革命は画期的な新素材を要求する!!



経済産業省 大臣官房審議官 (製造産業局担当) 佐藤 文一



トヨタ自動車(株) 先進技術開発カンパニー 有機材料技術部長 間瀬 清志



(株)産業タイムズ社 代表取締役社長 泉谷 渉

素材の高機能・高性能化の需要が高まるなか、これまでにない革新的な部材が求められる。国としてもマルチマテリアル化による最適設計、異種材料の複合・複層化技術の開発などを推進し競争力強化を目指す。本講演では、日本が強みとする素材産業の現状と将来展望について述べる。

異種材料接合 専門技術セミナー

10月5日[水] 15:00~15:40 受講無料/事前申込制

■ 金属と樹脂・CFRPとの異種材料接合技術の現状

10月6日[木] 14:00~14:40 ■ ダイセル・エポニックのエンブラと金属の複合化技術

10月7日[金] 13:00~13:40 ■ マツダにおける異種材料接合技術の取組み

10月7日[金] 14:00~14:40 ■ レーザを用いた金属と樹脂の新規接合技術

CFRP/CFRTP 専門技術セミナー

10月6日[木] 13:00~13:40 ■ 熱可塑性CFRPに未来はあるか?欧州の最新技術動向

10月6日[木] 15:00~15:40 ■ CFRTPオンラインブレンド射出成形機の開発とハイブリッド成形への取組み

10月7日[金] 11:00~11:40 ■ 炭素繊維・複合材料の用途拡大への展望

10月7日[金] 15:00~15:40 ■ 炭素繊維複合材料の自動車用途展開 ~東レコンセプトカー-TEEWAVE®の開発~

セルロースナノファイバー 専門技術セミナー

10月5日[水] 16:00~16:40 ■ リグノセルロースナノファイバーの製造と用途研究

10月6日[木] 12:00~12:40 ■ セルロースナノファイバーの基礎と応用

10月6日[木] 16:00~16:40 ■ セルロースナノファイバー強化樹脂のプラスチック成形加工と特性

10月7日[金] 13:00~13:40 ■ セルロースナノファイバーのエレクトロニクス分野への適用

METAL-K 関西 高機能金属展 基調講演

10月6日[木] 10:30~12:30 早期申込[9月23日[金]まで] 無料 (通常料金:27,000円)

日本の非鉄金属業界を取り巻く現状と将来展望 | 新日鐵住金の高機能鋼と今後の展望 ~未来に挑戦する鉄づくり~ | 特殊鋼から高機能金属開発へ、愛知製鋼の取組み



(一社)日本メタル経済研究所 代表理事 川口 幸男



新日鐵住金(株) 取締役 宮坂 明博



愛知製鋼(株) 執行役員 品質保証部 技術本部 先端・機能商品開発部長 野村 一衛

メタル 専門技術セミナー

10月6日[木] 13:00~13:40 受講無料/事前申込制

6号館Bセミナー会場③ ■ 鉛フリー銅合金エコプラスの特性と採用事例

10月6日[木] 14:00~14:40 ■ リサイクル技術を含めた飲料缶用アルミニウム材料

10月6日[木] 15:00~15:40 ■ マグネシウム合金板材の現状と開発状況

10月6日[木] 16:00~16:40 ■ マグネシウム合金展伸材のTIG溶接・MIG溶接

10月6日[木] 13:00~13:40 ■ 未来への挑戦 ~環境適合したナノ構造銅合金の開発~

10月6日[木] 14:00~14:40 ■ すずりフローめっきを施した端子用の銅及び銅合金の線材

10月6日[木] 15:00~15:40 ■ 対向型ディスクプレーキ用「アルミパイプ 錆包み一体キャリア」の開発について

10月6日[木] 16:00~16:40 ■ 輸送機材用アルミニウム材料

10月6日[木] 11:00~11:40 ■ 社会インフラに貢献する銅及び銅合金

10月6日[木] 12:00~12:40 ■ 自動車搭載用高性能銅めっき

10月6日[木] 13:00~13:40 ■ マグネシウム合金の最新表面処理技術概要

10月6日[木] 14:00~14:40 ■ アルミニウムによる自動車軽量化技術

10月6日[木] 15:00~15:40 ■ アルミニウム-6 ■ 電気・電子用アルミニウム材料

CERA-K 関西 高機能セラミックス展 基調講演

10月6日[木] 13:30~15:30 早期申込[9月23日[金]まで] 無料 (通常料金:27,000円)

日本を取り巻く高機能セラミックスの現状と将来動向 | 創業100周年を迎えるTOTOの歩みとファイナセラミックス事業展開 | アドバンストセラミックスによるハイテク技術革新: フラウンホーファーの取組み



(一社)日本ファイナセラミックス協会 専務理事 矢野 友三郎



TOTO(株) 執行役員 セラミック事業部長 宮地 淳



Fraunhofer Institute for Ceramic Technologies and Systems IKTS Director, Alexander Michaelis

セラミックス 専門技術セミナー

10月5日[水] 13:00~13:40 受講無料/事前申込制

10月5日[水] 15:00~15:40 ■ 世界のセラミックス研究開発動向

10月5日[水] 16:00~16:40 ■ セラミックス技術の革新に向けたケーススタディー

10月5日[水] 11:00~11:40 ■ 高温動作型の半導体式ガスセンサ

10月5日[水] 12:00~12:40 ■ 固体電解質燃料電池(SOFC)の現状と新しい展開

10月5日[水] 13:00~13:40 ■ セラミックス系ガス分離膜の現状と将来展望

10月5日[水] 15:00~15:40 ■ 先進セラミックスコーティング

10月5日[水] 16:00~16:40 ■ 医療の進展を支えるセラミックス技術

10月5日[水] 11:00~11:40 ■ セラミックス系ガス分離膜の現状と将来展望

10月5日[水] 12:00~12:40 ■ 先進セラミックスコーティング技術の現状と海外動向

10月5日[水] 13:00~13:40 ■ マテリアルズ・インフォマティクス ~焼き物としてのセラミックスへの波及効果と可能性~

10月5日[水] 14:00~14:40 ■ 電子顕微鏡が拓くセラミックスの新しい世界

Film-K 関西 高機能フィルム展 基調講演

10月7日[金] 10:30~12:30 早期申込[9月23日[金]まで] 無料 (通常料金:27,000円)

三菱樹脂の高機能フィルム事業について | 3つのコア技術を駆使した新製品開発への取組み | 東洋紡の高機能フィルムへの取組みと将来展望



三菱樹脂(株) 取締役 執行役員 高機能フィルム所管 垣本 昌久



帝人デュボンフィルム(株) 開発センター長 帝人グループ技術主幹 久保 耕司



東洋紡(株) 執行役員 工業フィルム事業総括部長 鈴木 利武

フィルム 専門技術セミナー

10月5日[水] 13:00~13:40 受講無料/事前申込制

10月5日[水] 14:00~14:40 ■ DNP機能性フィルムについて

10月5日[水] 11:00~11:40 ■ タッチパネル用薄型両面センサーフィルムの開発

10月5日[水] 12:00~12:40 ■ 宇部興産のポリイミドとその誘導製品

10月5日[水] 13:00~13:40 ■ バイオマス由来のバリアシート<PLANTIC>多層ラミネート

10月5日[水] 15:00~15:40 ■ “硬くなくても傷がつかない”自己修復コートフィルムの技術

10月5日[水] 16:00~16:40 ■ 防災・減災用蓄光フィルムの開発

10月5日[水] 15:00~15:40 ■ IoT社会に向けたフレキシブルデバイス開発の現状と課題

PLA-K 関西 高機能プラスチック展 基調講演

10月5日[水] 13:30~15:30 早期申込[9月23日[金]まで] 無料 (通常料金:27,000円)

新たな価値創生に取組む住友ベークライトの高機能材開発と将来展望 | エンジニアリング・プラスチックメーカーとしての日本の「ものづくり」支援 | シノベックにおける新ポリマー材開発



住友ベークライト(株) 執行役員 研究開発本部長 コーポレートR&Dセンター長 長木 浩司



ポリプラスチックス(株) 執行役員 新事業開発本部長 兼 新事業探索室長 猪塚 昭博



Sinopec Corp. Chief Scientist Sinopec Group/ Vice President Sinopec Beijing Research Institute of Chemical Industry, Qiao Jinliang

プラスチック 専門技術セミナー

10月6日[木] 11:00~11:40 受講無料/事前申込制

10月6日[木] 14:00~14:40 ■ ユニチカの高機能プラスチック材料の開発戦略

10月6日[木] 12:00~12:40 ■ 日産化学工業の高機能素材群 ~耐久性、低誘電特性、プロセス適合性など課題解決型の素材開発~

10月6日[木] 14:00~14:40 ■ フェノール樹脂成形材料の自動車部品への適用事例と今後の展開

※敬称略。セッションの録音、撮影は禁止です。講師、プログラムが変更になる場合、およびテキスト配布の無い場合もございます。なお、掲載料上 講師の役職・所属を省略させていただいている場合もございます。